

POINT 1
知・技

授業構造の再編による知識及び技能の確実な定着

GIGA スクール構想の本格的な運用に伴い、教育現場におけるICTの利活用は避けて通れない課題であろう。特に、鹿追町立鹿追中学校が国際バカロレア（IB）認定校となった背景を踏まえると、小学校段階から探究学習に積極的に取り組み、探究的な思考の土台を築いていくことは、義務教育を通じた学びの連続性の観点からも極めて重要ではないだろうか考える。

単に1人1台端末を導入するだけでなく、これからの時代を生き抜く子どもたちに身に付けさせたい資質・能力を確実に育成するための授業改善が、これまで以上に急務だと推測される。

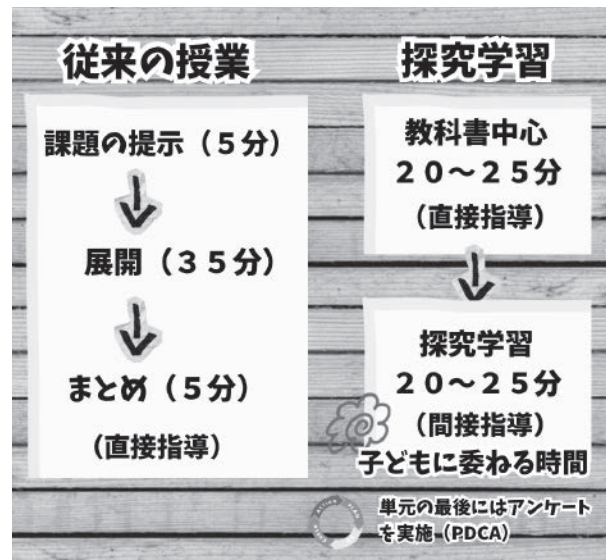
本実践では、標準学力調査の結果に見られる課題の解決に向け、2つの観点から具体的な指導の工夫を紹介する。

1 授業の構造について

従来の授業形態は、課題の提示からまとめまでを45分間で完結する流れが一般的であったが、その枠組みの中では子どもたちが探究に没頭する時間を十分に確保することは容易ではなかっただろう。

そこで本実践では、授業前半の20～25分間を、教師による指導に充て、教科書の内容を中心に基礎的な指導事項を効率的に提示した。これにより、学びの羅針盤となる「知識及び技能」の確実な定着を図った。

このように教師による指導の時間をあえて絞ることで生み出した「余白の時間」を、子ども自らが問いを深める探究活動や、自らの発見を他者と共有する「発表の時間」に充てることが可能になった。



【授業構造の再編（モデル図）】

また、小学校学習指導要領において「結果」を客観的に示し、「考察」で論理的に意見を述べることの重要性が示唆されているとおり、自らの探究の過程を可視化し発表する場面を設けることは、単なる知識の習得を超えて、思考を深め、学びを確かなものにするために極めて有効であろう。

こうした取組により、基礎的・基本的な知識の習得と探究学習の活性化を両立させることができるのではないだろうか。



【探究学習に取り組んだ子どものワークシート】

単元の見通しをもった探究学習の実現

鹿追町立鹿追小学校 主幹教諭 中川 一輝



POINT 2

思・判・表

単元計画シート「見通し〜と」を活用した思考力、判断力、表現力等の育成

2 鹿追町の探究学習とデジタルツールの融合
理科の思考力、判断力、表現力等を育成するためには、子どもが学習内容を単なる知識として受け取るのではなく、理科の見方・考え方を働かせながら、自らの問いとして再構成する過程が不可欠だろう。以下に、鹿追町が推進する探究学習の考えを基盤とした実践を紹介する。

まず、学習の導入段階では、単元の内容に関連したテーマを子どもが自ら設定する過程を重視している。単元計画シート「見通し〜と」の活用や「探究のサイクル」を提示し、子どもが自らの関心に基づいた問いを立てることで、学びを「自分事」として捉えることが有効であると考えられる。この「自分事」化の過程こそが、論理的な思考や判断の基盤となる「問題意識」を醸成する鍵になるだろう。

具体的な活動の場面では、「柔軟な学びの場」を創出している。具体的には、子どもが設定したテーマに対して、グループ又は個人で自ら最適だと判断した形態で探究を進められるように決定する機会を設けることである。こうした多様な学習活動を可視化し、表現するための主たるICTツールとしてCanvaを活用している。視覚的な構成力やプレゼンテーション能力の育成が同時に図れるのではないかと考えている。

さらに、こうした子どもの主体的な活動を支え、指導の質を継続的に高めていくために、授業改善のPDCAサイクルを確実に回し、子どもの思考過程を丁寧に見取り、必要に応じて適切な支援を行うことが大切だろう。単元の終末では、Google フォームを活用した振り返りと授業評価を実施している。子どもからのフィードバックを客観的なデータとして収集し、それに基づいて「評価 (Check)」を行い、次の単元の「改善 (Action)」につなげていくサイクルに留意することが望ましいだろう。

5年理科
単元名：天気の変化（7時間）

知・情：天気の変化と雲の量や動きとの関係について理解できる。
思・判・表：天気と雲の量や動きや天気の変化の様子について予想を確かめたり方法を考え、表現できる。結果をもとに考察し、説明できる。
主眼：天気の変化に興味を持ち、自分がかかわり合っていることを意識している。学習したこと、自分の学習に生かそうとしている。

時間	ページ	学習内容	ふりかき ◎・○・△
1	p 8~9		
2	p 10~12	□天気が変わるときの、雲の様子を調べる。	
3	p 13~16 Ipad必要		
4		□気象情報を集めて、雲の動きと天気の変化との関係を調べる。	
5	p 17~21		
6			
7		□雲の動きと天気の変化との関係についてまとめ、自分が住んでいるここからの天気を予想する。	T

関連ページ：p 8~21

【単元計画シート「見通し〜と」の例】

3 終わりに

本実践では、授業構造の再編による知識及び技能の確実な定着と、探究学習を通じた思考力、判断力、表現力等の育成を紹介した。指導の効率化で生まれた「余白」を子どもの発表や対話に充てることは、自律した学習者を育む上で有効だろう。PDCAサイクルを通じ、鹿追町の子どもたちが自ら問いを立て、探究を深めていく姿を支える授業改善を継続していきたい。